

2022 年 9 月

2022-09-18 (Sun)

[Bunny] M1 Mac 上で Bunny による Android アプリのビルド

メインマシンを M1 Mac に変えてから随分経つけど、Bunny による Android アプリのビルドのための環境を整えていなかった。そろそろ、と思ってやってみたら割とすんなりできた。

- Android Studio のインストール: [ここ](#)^{*1} から普通に
- Android Studio で作ったプロジェクトから local.properties を bunny/compiler/AndroidProjectPrototype/ にコピーし install.sh を実行

そうすれば、普通に bunny android hoge.hs でビルドできるようになった。

ビルド後、adb がどこにあんのかなと思ったら、SDK platform-tools^{*2} を別途ダウンロードしてやれば OK だった。

2022-09-08 (Thu)

[Bunny] 久々に触る

ひさびさに Bunny プロジェクトに触る。触るだけでもと思い。

make clean; make; make check すると、これまた久々に mac book のファンが回る音を聞いた。

チケットを眺めていると、bissue118 が目に止まった。そういえば、Kind Inference 相当すぎるなど。

Haskell Language Report の 4.6 を読んでみると、文献 8 に載っている型推論と種を保ったユニフィケーションの標準的なテクニックを使って決定できる、とある。

この文献読んでみるべきか: A system of constructor classes: overloading and implicit higher-order polymorphism^{*3}

- Haskell 2010 の 4.6 を 訳そう
- 次に参考文献 (上述) の必要な部分も訳し、
- 次に小さな PoC プログラムで理解を試した後に、
- Bunny の修正をする

*1 <https://developer.android.com/studio#downloads>

*2 <https://developer.android.com/studio/releases/platform-tools?hl=ja>

*3 <https://citeseerx.ist.psu.edu/viewdoc/download?doi=10.1.1.120.6646&rep=rep1&type=pdf>